vintagetechnics.ru

Technics

クォーツ ダイレクト ドライブ
ターンテーブル システム

品番 SL-M1

取扱説明書

保証書別添

T4P はプラグインコネクタ方式の統一マークです。
本マークのついた製品は互いに互換性及び適応性があります。

Optical Sensor Auto Lift-up

■この説明書と別添の保証書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。

■保証書は必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

上手に使って上手に節電
音量は必要以上に大きくしないで！ご使用後は、忘れずに電源を切って！

目次

安全にご使用いただくために……2
設置について……2
各部の名称……3
お使いになる前に……3
組立てかた……3～6
接続のしかた……6
演奏のしかた……6～7
取扱上のご注意……7～8
調整のしかた……8
特　長……8
アフターサービスについて……9
定　格……10

このたびはテクニクスクォーツDDターンテーブルシステムSL-M1をお求めいただき、まことにありがとうございました。

安全にご使用いただくために

使えるのはAC100Vだけ

抜くときはプラグを持って

無理に折り曲げたり加工はしない

電源コードに傷がついたときなど必ず購入店にご相談を

ぬれた手ではさわらない

水のはいった容器などは近くに置かない

金属物はさしこまない

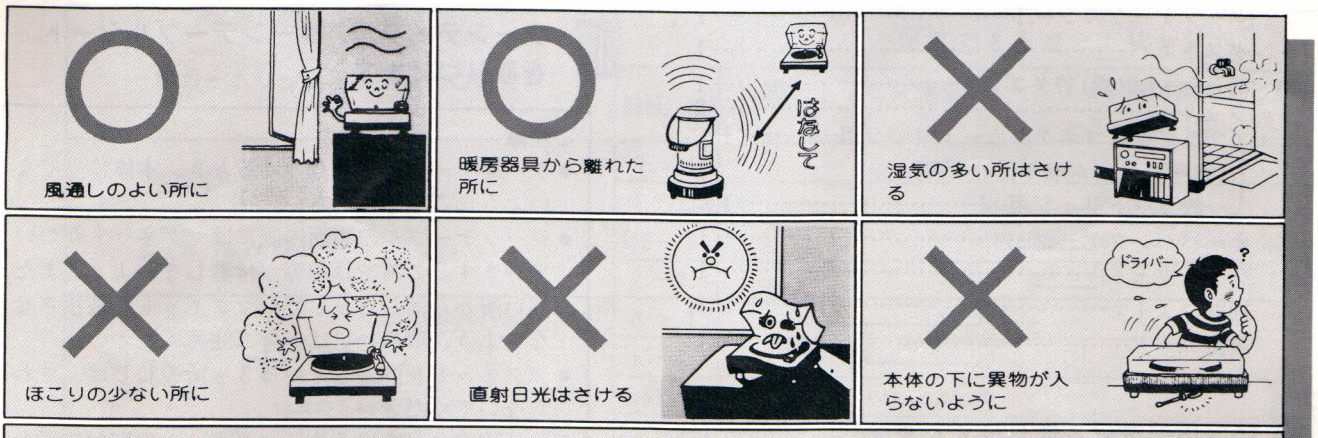
ぜひプラグを抜く習慣を

自分で改造しない

外国では使用できません

本機を使用中、異常な雑音やにおい、動作不良などの異常を感じられましたら、ただちに演奏を中止し、電源プラグをコンセントから抜き取り購入店にご相談ください。
そのまま、使用されますと、故障の範囲を大きくしたり、思わぬ事故の原因になる場合があります。

設置について



風通しのよい所に

暖房器具から離れた所に

湿気の多い所はさける

ほこりの少ない所に

直射日光はさける

本体の下に異物が入らないように

■外部振動を受けないしっかりした場所に設置してください。

■アンプ等、トランスを使用した機器からできるだけ離してください。

■パワーアンプなど熱を生じる上に置かないでください。

■ラジオ(FM/AM)を極端に近づけると、ラジオに雑音が入る場合がありますので、できるだけ本機より離してください。

各部の名称

(ダストカバー取付部)
ターンテーブルシート
センタースピンドル
ターンテーブル
キャビネット
ストロボイルミネータ/
パイロットランプ
スタート/ストップスイッチ
スピードセレクタ
バランスウェイト
ウェイトリング
針圧目盛リング
アンチスケーティング
コントロール
アームレスト
アームクランパー
トーンアーム
ロッキングナット
プラグインコネクタ
カートリッジ用シェル T4P
パワースイッチ(off on)
キューイングスイッチ

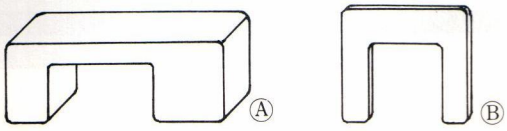
お使いになる前に

1 パッキングケースをあけた後、部品を確認してください。

本　体……1
ターンテーブル……1
ターンテーブルシート……1
ダストカバー……1
45(ドーナツ盤)アダプタ……1
シェル……2
(プラグインコネクタカートリッジ用……1
(トーンアーム取り付けずみ)
一般カートリッジ用……1)
オーバハングゲージ……1
シェルウェイト……1
補助ウェイト……1
電源コード……1

2 輸送用保護材を取りはずします。

保護材は、トーンアームのバランスウェイト後部に1カ所Ⓐ、バランスウェイトとウェイトリングの間に1カ所Ⓑ使用しています。



Ⓐ、Ⓑの順で取りはずしてください。

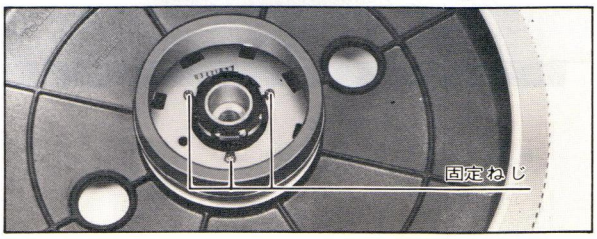
組立てかた

組立てが完了するまでは電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
また、ダストカバーの取りつけは組立ての最終工程で行なうようにしてください。
その他の組立て、調整がスムーズに行なえます。

1 ターンテーブル、ターンテーブルシートを取りつけます。

ご注意
- ターンテーブルを取りつけるとき、本体に当てないようにご注意ください。
- ターンテーブルの裏面内側にはマグネットがついています。ごみや鉄粉等が付着しないよう、また、高い所から落したりして、マグネットを破損させないよう、取扱いには十分ご注意ください。
- マグネットを固定している3ヵ所のねじは、さわらないでください。

万一、固定ねじをゆるめ、マグネットの取付位置を変えられた場合は、定格性能の保証はできません。

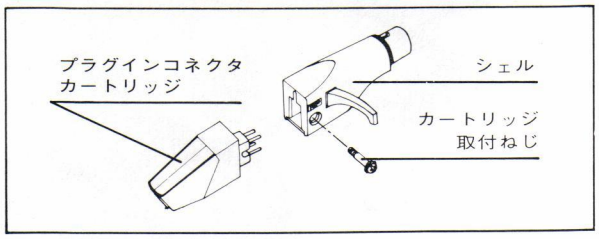


組立てかた

2 カートリッジを取りつけます。

ご使用のカートリッジ説明書に従って正しく取りつけてください。

付属のプラグインコネクタカートリッジ用シェルを使用する場合



1）カートリッジ取付ねじをドライバーで一旦取りはずします。
2）針先に指が触れないように注意してカートリッジをシェルにしっかりと差し込みます。
3）その後カートリッジ取付ねじで固定します。

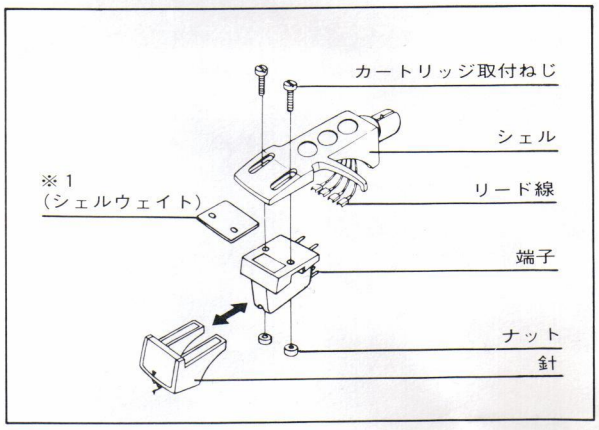
付属以外のシェルを使用する場合

シェル重量が7.5g以外の場合は、シェルとカートリッジの合計重量が19.5gまで使用できます。

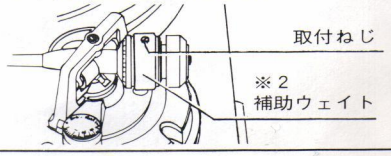
ご注意
シェルウェイトが使用できないカートリッジ（シェル一体形等）の重量範囲は次の通りです。
（針圧1～1.5gの場合）
- 補助ウェイトなし：13.5～15.5g
- 補助ウェイト使用：17.5～19.5g

付属の一般カートリッジ用シェルを使用する場合

（カートリッジ重量および付属のシェルウェイト、補助ウェイトの使用については下記の表をご参照ください。）



ご注意
※1 軽いカートリッジを取りつける場合は、付属のシェルウェイトをご使用ください。
※2 カートリッジ重量が8gを超える場合は、ウェイトリングに付属の補助ウェイトを取りつけてください。（取付ねじで固定します。）



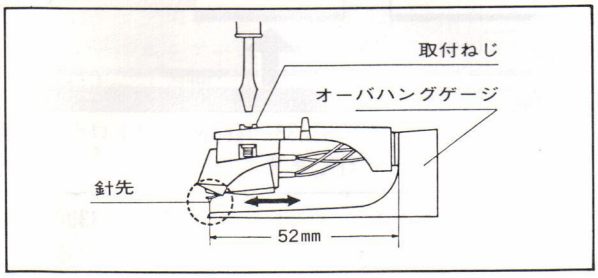
一般カートリッジ用シェルとの組合せ	使用できるカートリッジ	
	針圧（g）	カートリッジ重量（カートリッジ取付用のねじ重量含む）2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13g
シェルのみ（7.5g）	0 ～ 1	5.5 ┗━━━━━┛ 8
	1 ～1.5	6 ┗━━━━━┛ 8
	1.5～ 2	6.5 ┗━━━━━┛ 8
	2 ～2.5	7 ┗━━┛ 8
＋ 付属のシェルウェイト	0 ～ 1	3.5 ┗━━━━━┛ 6
	1 ～1.5	4 ┗━━━━━┛ 6
	1.5～ 2	4.5 ┗━━━━━┛ 6
	2 ～2.5	5 ┗━━┛ 6
＋ ＋ 付属の補助ウェイト	0 ～ 1	7.5 ┗━━━━━┛ 10
	1 ～1.5	8 ┗━━━━━┛ 10
	1.5～ 2	8.5 ┗━━━━━┛ 10
	2 ～2.5	9 ┗━━┛ 10
＋	0 ～ 1	9.5 ┗━━━━━┛ 12
	1 ～1.5	10 ┗━━━━━┛ 12
	1.5～ 2	10.5 ┗━━━━━┛ 12
	2 ～2.5	11 ┗━━┛ 12

1）カートリッジにリード線を接続します。

赤色→R＋(右チャンネル＋端子)
緑色→R－(右チャンネルアース端子)
白色→L＋(左チャンネル＋端子)
青色→L－(左チャンネルアース端子)

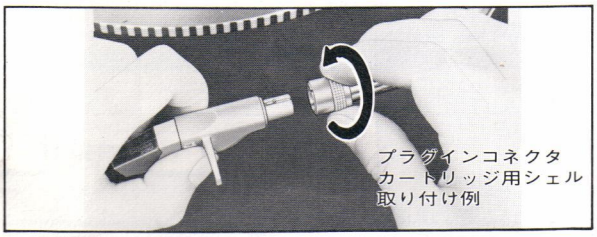
2）オーバハングを調整します。

図のように付属のオーバハングゲージにシェルを取りつけて、針先を合わせますと、正しいオーバハングが設定できます。カートリッジ取付ねじを少しゆるめ、カートリッジを矢印方向に動かしながら合わせます。



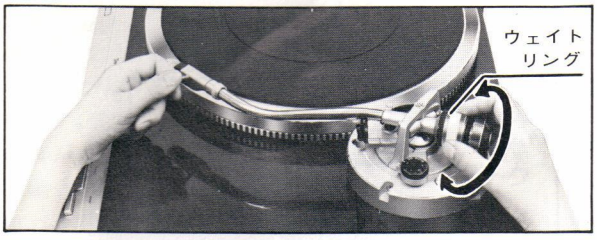
3 シェルを取りつけます。

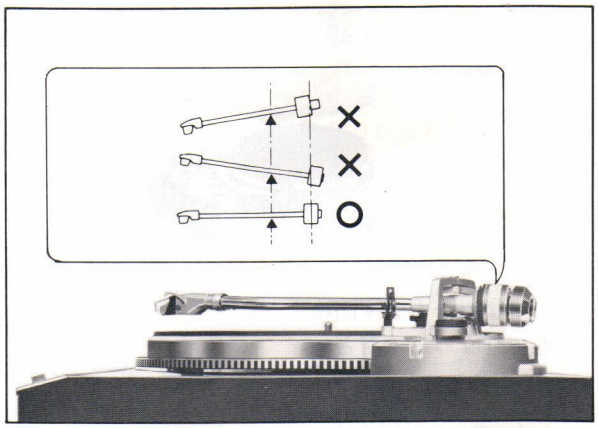
シェルのプラグ部をトーンアームの先端にはめ、シェルを水平に保持しながらロッキングナットを矢印方向にまわしてしっかりと固定します。



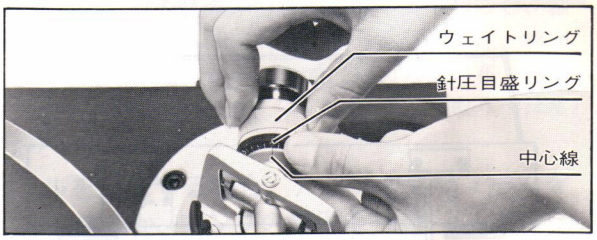
4 水平(ゼロ)バランスをとります。

1. アームクランパーをはずし、トーンアームをフリーの状態にします。
2. ウェイトリングをまわしながら、トーンアームがほぼ水平の状態になるまで調整します。(このときバランスウェイトはまわさないでください)





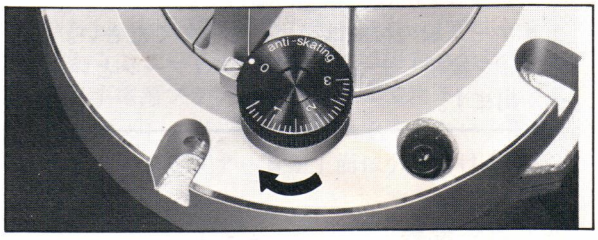
3. アームクランパーでトーンアームを固定します。
4. ウェイトリングが動かないように指で支えて、針圧目盛リングだけをまわし、“0”をアーム後部軸の中心に合わせます。



5 針圧をかけます。

ウェイトリングをまわすと、目盛リングも一緒にまわりますから、目盛リングを直読しながら適正な針圧に調整してください。

6 アンチスケーティングを調整します。

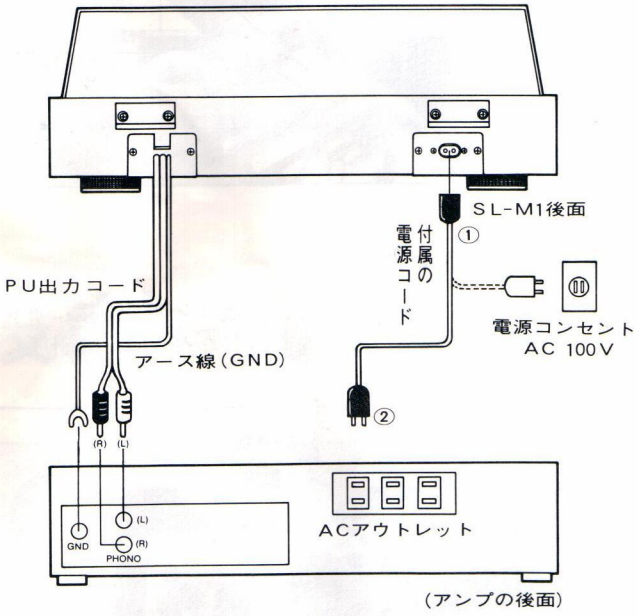


針圧値と同じ目盛に合わせます。

7 ダストカバーを取りつけます。

ダストカバーの両側を支えて、真上よりはめ込みます。はずす場合も必ず図のようにダストカバーを開けた状態で行なってください。

接続のしかた



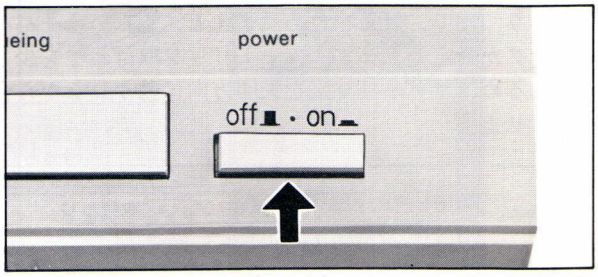
ご注意
- 電源コードは①→②の順に接続してください。
- アース線の接続は必ず行なってください。アース線を接続しませんと電源ハム(ブーンという音)が出ます。

演奏のしかた

1 レコードをのせます。

2 アームクランパーをはずします。

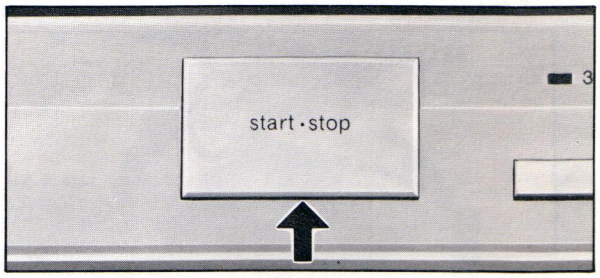
3 パワースイッチを押し、電源on(▬)にします。



スピードセレクタの33(33-⅓rpm)とストロボイルミネータのLEDが点灯します。

パワースイッチをonにすると、自動的に33回転にセットされます。45回転のレコードを演奏するときは、スピードセレクタの45を押してください。

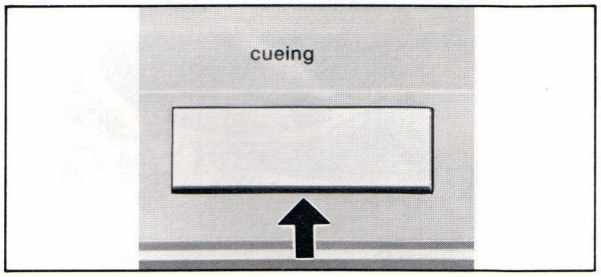
4 スタート/ストップスイッチを押します。



ターンテーブルが回転します。

5 トーンアームをレコード盤上に移動します。

6 キューイングスイッチを押します。



トーンアームは静かに下降し演奏が始まります。
演奏終了後、針先はレコード盤より離れ(**オートリフトアップ**)ターンテーブルの回転は止まります。

7 トーンアームをアームレストに戻し、アームクランパーで固定します。

8 その後パワースイッチを押し、 off (■) にしてください。

■演奏を一時中断する場合

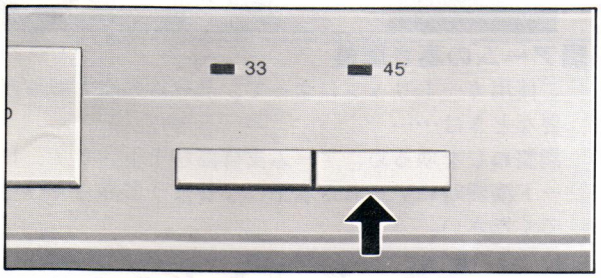
キューイングスイッチを押します。
針先はレコード盤より離れます。

■演奏を中止する場合

1. キューイングスイッチを押します。
2. トーンアームをアームレストに戻し、スタート/ストップスイッチを押します。

■45(ドーナツ盤)レコードの演奏

45(ドーナツ盤)アダプタをセンタースピンドルにはめます。
スピードセレクタの45を押します。



ストロボ縞目について
本機のストロボ縞目の照明には、クォーツの正確な周波数と同期したストロボイルミネータを使用しています。蛍光灯では、周波数が異なりますので、ストロボ縞目が流れて見えます。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。

音のエチケット
シンボルマーク

夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。
窓を締めたりヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り快い生活環境を守りましょう。

取扱上のご注意

■針先やレコードに付着したほこりやごみはよく取り除いてください。

カートリッジの針先は微小な信号を検出する超精密部品です。指先で触れたり、過大な力が加わらないよう十分ご注意ください。
針先にほこりやごみがついたまま演奏しますと、針先がレコード音溝に正確に接触せず、音質が悪化するだけでなく、レコードや針先の損耗が早まります。
やわらかいブラシで根もとから針先に向かってていねいに取り除いてください。
また、レコードも良質のレコードクリーナでよくふいてください。
レコードとレコード針の寿命をのばす別売りのTechnics DISC PROTEC SH-50C1 をご使用になることをおすすめします。

■シェル端子は時どきふいてください。

シェルをトーンアームからはずしておきますと、シェル端子にほこりやごみがつき、接触不良を起こし、雑音が発生したり、ハムが大きくなったり、また、音が出なくなる場合がありますので、やわらかい布などで、シェル端子をふいてから、トーンアームに取りつけてください。

■シェルを着脱する場合、アンプのボリュームを“0”にするか、アンプの電源を“off”にしてから行なってください。

ボリュームをあげた状態でシェルの着脱を行ないますと不愉快な音がするだけでなく、スピーカをいためる場合があります。また、シェルを着脱する場合は、針先保護のため、針カバーをしてください。

■キャビネットおよびダストカバーはやわらかい、かわいた布でからぶきしてください。

アルコール、ベンジン、シンナー等の溶剤でふかないでください。キャビネットやダストカバーの光沢が失われたり、塗装がはげたりします。
また、化学ぞうきん等の使用も避けてください。
スプレー式の殺虫剤がダストカバーにかかりますと、「ひび割れ」や「くもり」が発生することがありますからご注意ください。
万一、油類のようなものが付着して、からぶきではきれいにならない場合は、うすい石けん水にやわらかい布をひたし、固く絞って汚れをふきとった後に、乾いた布でからぶきしてください。この場合水気は危険ですから必ず電源プラグを引き抜いてください。
演奏中にダストカバーをふかないでください。静電気が発生して、トーンアームが上面に引きつけられることがあります。

■長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから引き抜いてください。

取扱上のご注意

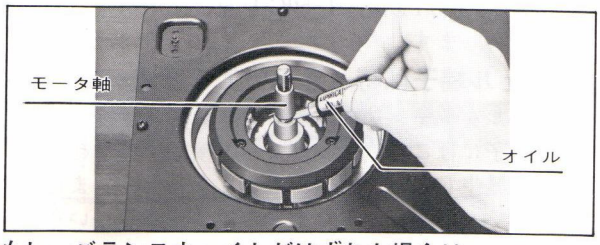
■転宅などで、遠くへ運ばれるとき

購入時の包装材で、開こんのときと逆の方法で包装してください。包装材がないときでも、次のことは必ず行なってください。

- ターンテーブルをターンテーブルシートとともに抜きとって、傷のつかないように包装します。
- アームをアームレストに戻し、更にテープで結んで動かないようにしてください。
- シェル/カートリッジは、アームから取りはずし、傷のつかないよう包装してください。
- プレーヤ本体は、毛布や、やわらかい紙で、傷のつかないように包装してください。

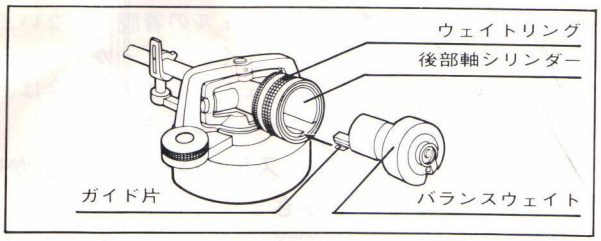
■注油について

本機は、2000時間に1回、2〜3滴の注油で十分です。
別売りの純正オイル(SFWO 010)をお求めください。



■もし、バランスウェイトがはずれた場合は……

水平バランス調整中にバランスウェイトがはずれた場合は、下図のようにバランスウェイトのガイド片を後部軸シリンダーとウェイトリングのすき間に差し込み、まっすぐ押し込んでください。

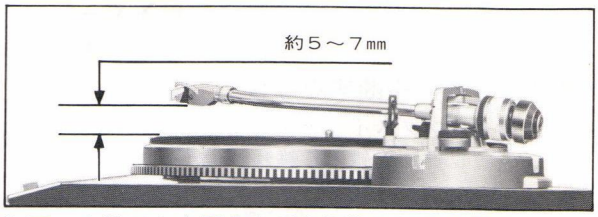


調整のしかた

■アームリフトの高さ調整

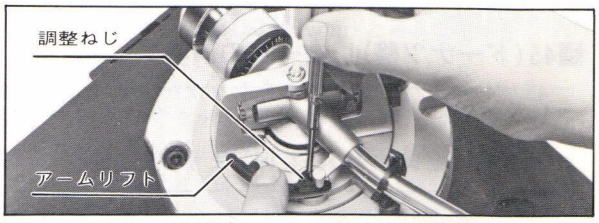
アームリフトの高さ(針先とレコード面に生ずる間隔)は工場出荷時に約5mm〜7mmに調整しています。
とくに調整が必要な場合は、下記手順で調整してください。

1.針先保護のため、針カバーをします。



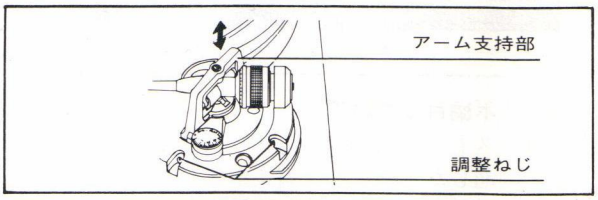
2.アームリフトを押えながら調整ねじを時計方向か、反時計方向にまわして調整します。

時計方向——レコード盤と針先の間隔が狭くなります。
反時計方向—レコード盤と針先の間隔が広くなります。



■アームの高さ調整

ご使用カートリッジによって、アームの高さ調整が必要なときは……
調整ねじをゆるめ、アーム支持部を上下させて、レコード演奏時にアームが水平になるように高さを設定してください。



特長

■無共振思想と美しい仕上がりを両立した高密度キャビネット

本機のキャビネットは、リアルウッドを特殊製法で微片化し、高密度圧縮をしたパーチクルボードを採用、優れた防振特性を発揮できる設計となっています。

■慣性モーメント425kg・cm²のターンテーブルをわずか0.9秒で定速回転(33rpm)させる大トルクDDモータ

高性能ブラシレスモータの採用により、1.6kg・cmの強大な起動トルクを実現。重量級ターンテーブルがわずか0.9秒で定速回転に達します。
また負荷変動特性は1kg・cm以内の定負荷に対して回転数偏差ゼロ。これは200gもの針圧を加えた場合にも回転速度は変化しないという非常にすぐれたものです。

■全周検出FGによる高精度な回転数検出

全周検出FGによって、ワウ・フラッタ0.008%の精緻な回転と、SN比82dBの静寂さを獲得しています。

■高感度ジンバルサスペンション軸受構造

精密研磨されたピボットと高精度ピボットベアリング4個によるジンバルサスペンション方式を採用。水平、垂直回転部の軸心が中心で交わるため、全ての方向に高感度で、初動感度7mgを実現しています。
また、アームベースは、アルミキャスト精密加工により、材質精度の劣化もなく、トーンアームの高性能を維持します。

■低域特性を大きく改善するダイナミックダンピング機構

EPA-100の特長を受けつぐダイナミックダンピング方式を採用。不要な低域共振を効果的に制動して混変調歪を低減し、より原音に忠実な再生を可能にしました。

■その他の特長

- オートリフトアップ機構
- 2タイプヘッドシェル付属
- オールフロントオペレーション

● 著作権についてのご注意

あなたがラジオ放送やレコード、録音物などから録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断では使用できません。

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物（ミュージックテープなど）の作品も同じように著作権法により保護されています。
従って音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれらから録音したテープなどの使用には一定の制限があります。
たとえば
- 放送やレコード、録音物から録音したテープを売ったり、配ったりすること、あるいは貸し借りしたり、譲ったり、交換したりすること。
- レコードや録音物またはそれらから録音したテープや、放送から録音したテープを営利(店のBGMなど)のために使用すること。

これらの場合には著作権法上の権利者の許諾を必要とします。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」(JASRAC)もしくはもよりの支部におたずねください。

日本音楽著作権協会

北海道支部	TEL 011(221)5088	〒060	札幌市中央区南一条西2-7 長鐘ビル
東北支部	TEL 0222(64)2266	〒980	仙台市中央2-1-7 仙台三和ビル
北陸支部	TEL 0762(21)3602	〒920	金沢市香林坊2-3-25 金沢日産館
本部 関東支部	TEL 03(502)6551	〒105	東京都港区西新橋1-7-13
静岡支部	TEL 0542(54)2621	〒420	静岡市追手町9-22 読売静岡ビル
中部支部	TEL 052(586)1155	〒450	名古屋市中村区名駅4-27-20 新名古屋ビル南館
関西支部	TEL 06(244)0351	〒542	大阪市南区船場4-3-11 豊田ビル
四国支部	TEL 0878(33)0362	〒760	高松市天神前10-5 高松セントラルスカイビル
中国支部	TEL 082(249)6362	〒730	広島市中区大手町1-2-1 広島東京海上ビル2F
九州支部	TEL 092(441)2265	〒822	福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル

アフターサービスについて

1. 保証書(別に添付してあります。)
保証書は、必ず「**販売店名・購入日**」等の記入を確かめて販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間—ご購入日から1年間です。

2. 修理を依頼されるとき
もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときには、必ず電源プラグを抜いてから、後の処置をしてください。

● 保証期間中は
お求めの販売店にご連絡ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理致します。

連絡していただきたい内容
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・ご購入日
- 故障又は異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

● 保証期間が過ぎているときは
お求めの販売店に、まずご相談ください。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。

3. 補修用性能部品の最低保有期間
本機の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切り後8年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。

4. アフターサービス等について、おわかりにならないとき
お求めの販売店又は最寄りの「ご相談窓口」(別紙ご参照)にお問合わせください。

定格

(総　　合)

電　　源……AC 100V, 50/60Hz
消費電力……15W
外形寸法……幅45.3×奥行40.6×高さ17cm
幅45.3×奥行45.4×高さ43cm
(ダストカバーをあけたときの最大値)
重　　量……10.2kg

(ターンテーブル部)

形　　式……クォーツダイレクトドライブターンテーブルシステム(マニュアル)
駆動方式……ダイレクトドライブ
駆動モータ……ブラシレスDCモータ
制御方式……クォーツフェイズロックドコントロール
ターンテーブル……アルミダイカスト製、直径32.5cm 重量2.5kg(ゴムシート含む)
回転数……33⅓・45rpm
起動トルク……1.6kg・cm
起動特性……0.9秒(33⅓rpm時)
負荷変動……0%(1.0kg・cm以内)
回転数偏差……±0.002%以内
ワウ・フラッタ……0.008%WRMS※
0.022%WRMS
(JIS C5521)
±0.031% peak
(IEC 98A weighted)

※レコード、カートリッジ、トーンアームなどの影響を除いた回転部(ターンテーブル含む)のみの回転数瞬時変動を示します。この値は、モータ内蔵のF・Gからの信号を用いて測定したものです。

S/N比(ランブル)……82dB
(IEC 98A weighted)
70dB
(IEC 98A unweighted)

(トーンアーム部)

形　　式……ユニバーサルS字形トーンアーム ジンバルサスペンション軸受構造 スタチックバランス形
アーム有効長……230mm
オーバハング……15mm
トラッキングエラー角……+2°32′(30cmレコード外周)
+0°32′(30cmレコード内周)
オフセット角……22°
回転軸感度……水平、垂直、初動感度7mg以下
アーム実効質量……12g(カートリッジなし)
アーム高さ調整範囲……6mm
針圧調整範囲……0～2.5g(針圧直読式)
シェル重量……7.5g
適用カートリッジ重量……6g(プラグインコネクタカートリッジ用シェル使用時)
4ページ参照
(一般カートリッジ用シェル使用時)

便利メモ　(お問合わせや修理依頼のときのために、記入しておいてください。)

ご購入年月日	年　月　日	品番 SL-M1
ご購入店名	電話(　)　－	
最寄りの当社ご相談窓口	電話(　)　－	

松下電器産業株式会社 ハイファイオーディオ事業部
所在地 〒570 大阪府守口市松下町2番地 ☎(06)992－1551

SFNUM01N01
S1183Y2